

市立幼稚園の今後についての説明会 意見・質問及び教育委員会としての考え方(令和8年7月10日 西山幼稚園開催分)

番号	項目	意見・質問	教育委員会としての考え方
1	跡地利用と避難所機能	閉園後の西山幼稚園の跡地(避難所としての利用含む)はどのように利用されるのでしょうか。	現段階で具体的に決まっているものはありません。避難所として使われていることは認識しておりますので、今後市長部局と協議し検討していきます。
2	3歳児保育の導入と定員状況	こどもの減少により、仕方ないと思う部分もありますが、私自身この幼稚園が好きなので、さみしい思いがあります。岩園幼稚園で3歳児受け入れを始めた経緯は何でしょうか。西山幼稚園等でも3歳児保育を導入して園を維持する検討はされたのでしょうか。	岩園幼稚園での3歳児保育は試験導入を経て本格実施をしてきましたが、近年は定員に満たない状況となっています。市全体として、3歳児の1号(教育ニーズ)の受け皿としては、市立の認定こども園を2園新設したことや他の就学前施設も含めて充足しておりますので、市立幼稚園でさらに3歳児保育を広げるという考えはありません。
3	架け橋期コーディネーターの役割と業務内容	コーディネーターは施設に教えに行くわけではないとのことですが、具体的にどのような業務を行うのですか。	主な役割は、就学前施設と小学校のカリキュラムをつなげることです。学校の授業を見たり学校に入って学びながら、日々の保育と小学校の学びをスムーズに接続するためのアドバイス等を行っていきます。
4	コーディネーター配置の根拠(小1の壁・不登校対策)	小1の壁という話がありましたが、コーディネーターを配置する意義や定量的な根拠はあるのでしょうか。 不登校等は高学年で起こる可能性もある中で、「年長から小1への接続」だけで効果があるとする根拠は何ですか。	小1の困り感を就学前の保育(例:秋の自然に触れる遊び等)に取り入れてもらう橋渡し役が必要と考えています。また、低学年において不登校傾向の児童数が増えていることから環境変化に対するサポート基盤を整備する必要があると考えています。 いじめや行きしぶりは高学年でも起こりますが、低学年で増加傾向にあります。環境変化の時期に他者との関係構築などの土台を作ることが、その後の成長につながると考えています。
5	子育て支援のあり方と公立の意義	共働き世帯が増え、保育園やこども園へのニーズが高まる中で、子育てに対する手厚い支援が足りないと感じます。学童保育は増えています、幼稚園存続への対策はしてきたのでしょうか。中学校区に1園という方針もマイナスではないでしょうか。	近隣市で全園こども園化などが進むなかでも、本市は市立幼稚園に求められる役割を踏まえ、今回、中学校圏域に1拠点として残す方針としたところです。数字だけを見て施設を減らしていくことはしていません。学童保育も全校で待機児童なしで実施するなど手厚く行っており、子育て支援としてはさまざまな施策を実施していますが、そうした市の取り組みや良さが十分にPRできていない点は課題と認識しています。
6	行政との認識のズレとこどもの居場所	以前より要望を伝えても反映されていないと感じます。幼稚園がなくなるのはこどもの居場所を奪うことであり、跡地の活用案すら示されない状態で閉園と言われても納得しがたいです。	跡地の活用については教育委員会だけで決められるものではなく、もどかしい思いをさせている点は申し訳なく感じています。 以前に比べて、保護者の就学前施設の選択が多様化しており、多くの施設から新1年生が小学校に集まる状況のなかで、接続期のサポートはより重要となっています。また、こども全体の数として、この10年で、就学前児童が3割減、出生数が4割減という厳しい現実があります。こうした状況から、学校教育審議会において、本市のすべてのこどもたちのために今後市立幼稚園をどうしていくかという議論を重ねていただき、その答申を踏まえて方向性を定めたところです。

市立幼稚園の今後についての説明会 意見・質問及び教育委員会としての考え方（令和8年7月10日 西山幼稚園開催分）

番号	項目	意見・質問	教育委員会としての考え方
7	閉園までの過ごし方	今後の具体的な方針や跡地について話し合いたかったです。もし、令和9年度から4歳児が誰も来なかった場合はどうするのでしょうか。	4歳児が入園しない事態は教育委員会としても心配していますが、4歳・5歳児の異学年で保育ができる可能性があることを考えて、今回のスケジュール（令和9年度閉園）を選択したところです。もし、5歳児のみの保育になってしまっても、他園や他の就学前施設との交流等により、できる限り多様な交流ができるよう工夫して保育を行っていきます。
8	教職員の処遇と閉園に伴う諸課題	閉園する幼稚園に勤める先生の行き先や処遇はどうなるのでしょうか。 コーディネーターは民間施設に受け入れてもらえる見通しがあるのでしょうか。 西山幼稚園が閉園となった場合、岩園幼稚園への入園希望が集中し定員オーバーとなった場合はどうなりますか。特例措置で受け入れてもらえるのでしょうか。 なぜ来年度（令和9年度）での募集停止なのですか。もう少し先延ばしできないのでしょうか。	これまでの経験を活かして働けるよう配置を検討します。 各施設には既に協議し、接続カリキュラムの取り組みへの賛同を得ています。 他園は定員に余裕があるため基本的には受け入れ可能と考えています。万一超過した場合もなるべく受け入れができる方向で検討します。 こどもたちにとってあまりに人数が少ない現在の状況は望ましくないことや、答申に示された学びや生活の基盤を作る架け橋期の取組を早期に進めるためこのタイミングとしたものです。
9	新聞報道の先行	閉園のことについて、保護者や職員が知る前に、新聞で先に報道されたのはなぜですか。このことで保護者間でもトラブルとなりました。	市民の代表である議会（公開の場・中継あり）にまず報告することが市としてのルールであり、そこでの議論をメディアが取材し報道されたものです。結果として保護者への説明より報道が先行してしまい、ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。
10	未就園児の居場所と他園での3歳児受け入れ	西山幼稚園での未就園児グループ活動（さんさん広場など）はどうなりますか。未就園児の居場所が確保されるのでしょうか。 閉園に伴い、宮川幼稚園など他園での3歳児受け入れを検討してほしいです。	現時点で未就園児の居場所は未定ですが、拠点としての役割をどう継続していくか検討します。 3歳児保育については岩園幼稚園で実施していますが、近年は定員に満たない状況です。また、市内の認定こども園はじめ私立の就学前施設などにおいて3歳児の教育ニーズの受け皿は充足しているため、市立幼稚園で3歳児保育を広げる考えはありません。
11	閉園決定のプロセスと意見の反映	閉園が覆る可能性はありますか。また、今回の説明会での意見はどう扱われるのでしょうか。	9月の市議会に条例改正案を提出し、議会で可決されると決定となります。説明会でのご意見は市HPにも掲載し、議会へも報告する予定です。

市立幼稚園の今後についての説明会 意見・質問及び教育委員会としての考え方（令和8年7月10日 西山幼稚園開催分）

番号	項目	意見・質問	教育委員会としての考え方
12	こどもへのケア	仮に閉園が可決された場合、在園児や西山幼稚園への入園を楽しみにしている幼稚園が大好きなこどもたちに対する心のケアをどう考えていますか。	こどもへの伝え方や心のケアは非常に重要だと考えています。園の現場の先生方としっかりと話し合い、こどもの様子を丁寧にキャッチしながら心を砕いて向き合っていきます。
13	議会への伝達方法とパブリックコメント	説明会での市民の意見がどのように議会に伝わるか知る方法がありますか。 説明会だけでは時間が足りないので、パブリックコメントを行ってほしいです。	議会はネット中継や傍聴でご確認いただけます。また、ご意見をまとめたものやそれに対する教育委員会としての考え方は市HP等でも公開し、議会へも報告する予定です。 パブコメの実施までは考えていませんが、市HPに常時設けている意見受付窓口などにご意見を寄せていただくことは可能です。